

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

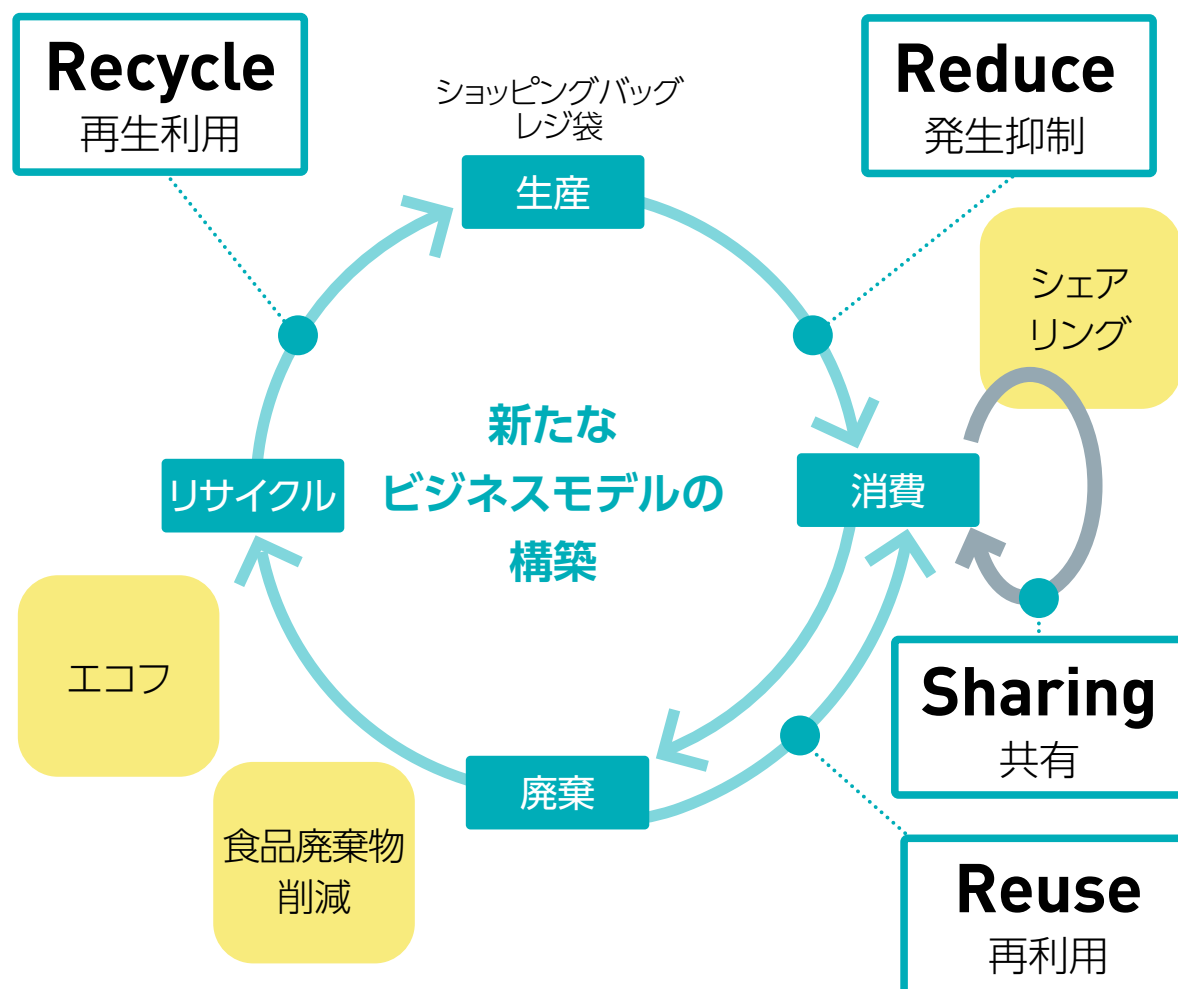
ガバナンス

データ集

JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス → 循環型社会の実現に向けて

循環型社会の実現に向けて

JFRグループでは、環境に配慮したリサイクルやリユース活動を通じて、顧客参加型の購買スタイルの提案やサーキュラーエコノミーに対する新しいビジネスモデルの開発を目指しています。



シェアリング

所有から共有への消費者の価値観の変化にともなった「シェアリングエコノミー」のビジネスモデルが小売業でも広がっています。JFRグループは、この価値観の変化を新たなビジネスの機会ととらえています。当社がもつリソースを元にシェアリングを切り口とした新しいビジネスを創出できれば、既存顧客の需要拡大や新規顧客の獲得につながり、マルチサービスリテラーとして将来的に事業の新たな柱となると考え、取り組みを進めています。

食品廃棄物削減

日本では年間2,759万トン※の食品が廃棄され、大きな社会課題となっています。JFRグループの中核事業である大丸松坂屋百貨店では、店内からの食品廃棄物の削減とリサイクルに努めています。生ゴミ処理機の設置や外部の処理業者に委託し、肥料として活用できるよう再生しています。また、お取引先様とともに食品廃棄物の削減と食品リサイクル率を高める取り組みを進めていきます。

※ 農林水産省および環境省推計（平成28年度）

エコフ

アパレルの大量廃棄や焼却が、環境・社会面において大きな課題となっています。大丸松坂屋百貨店では、サプライチェーンにおいて、お取引先様とお客様に接点をもっている特徴をいかし、2016年度からお客様参加型のリサイクルキャンペーン「エコフ」の活動を通じて、お客様とともに環境負荷の低減に取り組んでいます。

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

ガバナンス

データ集

JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス → 循環型社会の実現に向けて

持続可能な顧客参加型プロジェクト

エコフの取り組み

大丸松坂屋百貨店では、2016年からお客様がご不要になった衣料品・靴・バッグなどを回収してリサイクルする「エコフ」に取り組んでいます。持参された不要品は、ポリエステル生地へのリサイクルや、バイオエタノールに再生することでエネルギーの再資源化につなげています。一方、お客様には、「ショッピングサポートチケット」をお渡しすることで、大丸松坂屋百貨店での購買につなげる循環型の仕組みになっています。この取り組みは、環境に優しいエコな活動を通じて、お客様への負担や地球への負荷を低減する持続可能な顧客参加型プロジェクトです。お客様の環境負荷低減への意識がますます高まる中、2019年4月には7度目のキャンペーンを実施しており、回収点数も増加しています。

また、2019年6月からエコフ回収ボックスの常設化を行い、更なるリサイクルやリユースに取り組んでいます。8月には初めてファミリー向けのイベントとして、楽しく遊びながらリサイクル・リユースについて学べる「エコフのがっこう」を開催しました。次世代のお子様も含め、お客様のリサイクル・リユースを通じた循環型社会への理解につながっています。

今後もステークホルダーであるお客様とともに、事業活動を通して循環型社会への実現に貢献します。



エコフ回収特設カウンター



これまでの回収実績

2016年8月	88,773点	30,657kg
2016年11月	165,944点	65,991kg
2017年4月	213,476点	71,632kg
2017年10月-11月	254,666点	68,036kg
2018年4月	299,170点	92,327kg
2018年11月	461,550点	143,057kg
2019年4月	436,633点	106,456kg

累計

1,920,212点

578,156kg

※エコフのリサイクル・リユースはリサイクルプロジェクト“BRING”とコラボレーションしています。